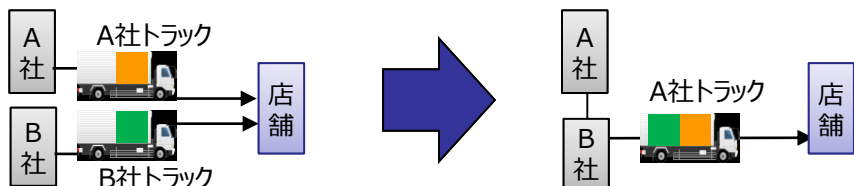


- 東京2020大会期間中の交通量の抑制や交通量の平準化等の促進を目的に、大会中及び大会後において物流改善に取り組む意向のある企業の取組を確実に進めるため、事前準備に対する支援等を実施。
- 手荷役作業が多いなどの事情により取扱いを敬遠される事例が出始めている食品の流通合理化を図るため、幹線輸送における効率的な輸送方法の活用や商慣行是正等による集荷配送の効率化に向けた支援を実施。

## 東京2020大会期間中の混雑緩和に向けた輸送量の抑制を図るための実証事業（イメージ）

### 共同輸配送

- 複数事業者の連携による共同輸配送



### 平準化

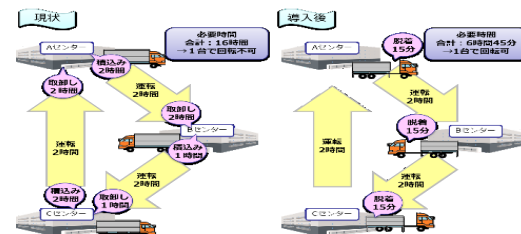
- 共同輸配送や定曜日配送により輸送量を平準化  
定曜日による平準化

発荷主	着荷主	月	火	水	木	金	土	日	平均積載率
A社	Z社	○	○	●	○	○	○	-	60%
B社		○	○	●	○	○	○	-	38%
C社		○	○	○	○	○	○	-	37%
D社		○	○	○	○	○	○	-	60%
トラック台数		2	2	2	2	2	2	2	

## 食品流通の合理化を図るための実証事業（イメージ）

### 幹線輸送の効率化

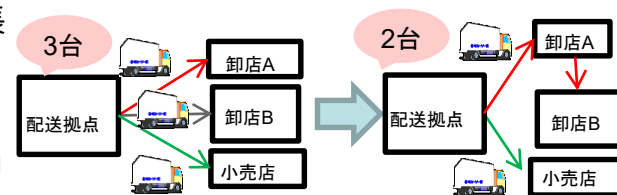
- スワップボディコンテナ車両を活用した荷役分離
- 連結トラックを活用した共同輸送



### 集荷配送の効率化

- リードタイム※の延長による効率的な車両手配

※リードタイム：商品を発注してから納品されるまでの期間



上記の実証事業の実施を通じて物流の効率化を推進するとともに、優良事例を収集し、横展開することにより、サプライチェーン全体での効率化を促進する